

以上、北見試験地の概要を紹介した。すでに開設後5シーズン目を終えたが、毎年、気象災害（干ばつ、強雨・強風など）や鳥獣害（ハト、スズメ、カラス、キツネなど）に見舞われながらも、安定した試験成果が得られるよう努めている。日本最東北の植調北見試験地をぜひご利用頂きたい。

## 参考文献

- 石田正夫・沢村孝之助 1968. 北見地域の地質. 地域地質研究報告. 網走 (1) 47号, 41pp. 地質調査所.  
北見現代史編集委員会 2007. 薄荷. 北見現代史. 271-281.  
北見屯田神社記念事業協賛会 2004. 北見屯田神社百年のあゆみ. 244pp.  
中日本農業研究センター 2020. 緑肥利用マニュアルー土づくりと減肥を目指してー. 38-43. [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/134374.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/134374.html)  
(2023年10月24日閲覧)

..... 北見試験地へのアクセス .....

◎事務所、試験圃場：北海道北見市とん田東町 556 番地  
女満別空港から車で約 40 分、JR 北見駅・バスターミナル  
からタクシーで約 10 分。

地図（Google Map など）で見ると、屯田神社と北見市立西小学校の間である。

### 田畑の草種

## 鱒田牛蒡（ヒレタゴボウ）

アカバナ科チョウジタデ属の一年草。水田や休耕田、湿地や溜池畦などに生育する。茎はよく分枝し、高さ 100-150cm、無毛で、稜があり普通 4 稜、ときに 3 稜。葉は互生し、ほぼ全縁で披針形、やわらかく光沢があり、基部はくさび形で茎の稜に沿って流れ、ヒレ（翼）状に張り出す。花は葉腋にまばらに単生。短い柄があり、花弁は 4 枚で倒卵形、花の径は 2.5-3cm、花色は黄色で平開する。花弁と花弁の間に隙間があり萼片が見える。花が散った後朔果が熟すまで萼片が残る。朔果は四角柱で長さ 1.5-2cm。中に多くの種子を入れる。秋にはピンク色に紅葉する。

北アメリカ原産の帰化植物とされ、1950 年代に相次いで四国で採集され、今では関東以西の湿地などに帰化している。筆者の周辺の田んぼでも、最近の 10 年ほどでよく目立つようになってきた。

田んぼに入り込むと稲の背丈より高くなり、収穫時期には基部の茎の太さが大人の親指の太さを超えコンバインには負担となる。周辺でも、収穫前にヒレタゴボウを手で刈り取っている田んぼもある。また、コシヒカリを収穫した後の田んぼでは、ひこばえが大きくなって穂をつけるようになってきた頃、ひこばえの条間に数多くのヒレタゴボウが稲と同じ背丈で花を咲かせ果実をつけているのを見ることになる。1 つの朔果の中には多くの種子が入れられており、翌春にはまた、この種子が田んぼ中にばらまかれることになる。

しかし一方で、なかなか可憐な花でもある。田んぼの中で何本かが稲より高くなり、レモンイエローの鮮やかな花がまばらに咲いているのを見ると、どうしてだか「幸福の黄色いハンカチ」の最後の「夕張の街の黄色いハンカチ」のシーンに重なる。

(公財)日本植物調節剤研究協会  
兵庫試験地 須藤 健一

「幸福の・・・」は 1977 年に公開された山田洋次監督、高倉健、倍賞千恵子、武田鉄矢、桃井かおりらが出演していた北海道を舞台にしたロードムービーであるが、その最後のシーンが夕張の炭鉱住宅の前に立つこいのぼりの竿に青空を背景に数十枚もの黄色いハンカチがなびいているシーンであった。

「幸福の・・・」とヒレタゴボウとが何か関係するわけではない。ただ、黄色というのは「幸福」の象徴の色であるのかもしれない。

